事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1020000　総合政策部北部拠点整備推進室　　担当者
短縮番号　01270　北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	001　魅力的な中心市街地を整備する				
施策達成課題	001　魅力的な中心市街地を整備する				
基本事務事業	003　北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業				
詳細事務事業	001　北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業				
事業期間	平成28年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	【課題】①北部地域振興交流拠点は、県市の共同事業であるため、県との調整が必要である。 ②県は北部拠点をA棟とB棟の2棟に分け検討を進めており、A棟には市役所のほか県の施設が設置される予定のため、県のスケジュールに合わせた検討が必要である。 ③次年度以降の県市の費用負担等が不透明である。 【分析】①令和３年度策定の埼玉県５か年計画に「北部地域振興交流拠点の検討推進」の位置付けが復活 ②北部地域振興交流拠点への導入機能は、これまで検討してきた産業振興機能のほか、高等看護学院、県立図書館、県立病院サテライトや市役所機能が想定される。 ③令和５年度から、市は、本庁機能の一部又は全部を北部拠点に移転する方向で検討を開始				

【事業分析】

対象	北部地域振興交流拠点事業用地（本町二丁目地内）
目的	北部地域振興交流拠点施設（仮称）を整備するために必要な調査・検討を行う。
手段	・調整会議を実施する。 ・庁舎整備基本構想を策定する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	9,792	56,244	93,080	63,039	0	0	0
事業費	231	23,933	93,080	63,039	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	231	23,933	93,080	63,039	0	0	0
人件費計	9,561	32,311	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.25	4.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-07-49-01-00-00	北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業	総合政策部企画課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1020000　総合政策部北部拠点整備推進室
短縮番号　01270　北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由	県のスケジュールに合わせて北部拠点への本庁舎移転の検討が必要			
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	北部地域振興交流拠点（仮称）の推進については、県・市が連携して整備に向けた検討を進めてきたが、令和6年度に埼玉県が策定した「北部地域振興交流拠点　基本構想」において、北部拠点はA棟とB棟に分かれて整備されることが公となり、A棟には市役所のほか、県の産業振興機能、県立図書館、県立高等看護学院、県立病院サテライトが整備されることとなった（B棟には地方庁舎などが整備される予定）。 令和6年度には本市においても庁舎整備基本構想を策定し、令和7年度にはより内容を具体化した庁舎整備基本計画を策定する予定となっている。 令和8年度以降も事業の実現に向け県と連携を図りながら、仕様の検討や設計、建設へと事業を進める必要がある。		

【２次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　01285　「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	001　魅力的な中心市街地を整備する				
施策達成課題	001　魅力的な中心市街地を整備する				
基本事務事業	014　「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業				
詳細事務事業	001　「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費		
根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律・熊谷市中心市街地活性化事業費補助金交付要綱				
課題・分析	有効性、効率性とも好評価のため、継続実施する				

【事業分析】

対象	まちづくり会社
目的	中心市街地活性化のため
手段	設立出資、活性化業務の委託、運営経費及び事業費の補助
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	14,684	13,171	16,630	16,630	0	0	0
事業費	12,160	12,460	16,630	16,630	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	12,160	12,460	16,630	16,630	0	0	0
人件費計	2,524	711	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.33	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-02-29-01-00-00	「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　01285　「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
歩行者・自転車通行量（休日）	人	25,000.00 11,726.00	25,000.00 10,456.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　01286　中心市街地活性化活動支援事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	001　魅力的な中心市街地を整備する				
施策達成課題	001　魅力的な中心市街地を整備する				
基本事務事業	015　中心市街地活性化活動支援事業				
詳細事務事業	001　中心市街地活性化活動支援事業				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定外事務		
根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律・熊谷市中心市街地活性化事業費補助金交付要綱				
課題・分析	大型商業施設と専門店の連携・協力体制の構築により、商店街を構成する専門店の魅力アップを支援し、市内商業の競争力強化及び集客力向上により市内商業の活性化を図る必要がある。				

【事業分析】

対象	まちなかモール委員会、中心市街地の大型商業施設
目的	中心市街地活性化の活性化
手段	中心市街地の大型商業施設５館が実施する共同販売促進事業を支援するとともに、まちなかモール委員会等の活動を支援する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	8,031	7,598	6,150	6,168	0	0	0
事業費	4,666	4,754	6,150	6,168	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,666	4,754	6,150	6,168	0	0	0
人件費計	3,365	2,844	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.44	0.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-02-41-01-00-00	中心市街地活性化活動支援事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　01286　中心市街地活性化活動支援事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
事業実施数	件	10.00 5.00	10.00 5.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00
歩行者・自転車通行量（休日）	人	25,000.00 11,726.00	25,000.00 10,456.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　01330　「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	001　魅力的な中心市街地を整備する				
施策達成課題	001　魅力的な中心市街地を整備する				
基本事務事業	017　「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業				
詳細事務事業	001　「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費		
根拠法令等					
課題・分析	事業の目的は、駅送迎車両が駅前広場に滞留することによる混雑を緩和するためのティアラ21駐車場の30分無料化や東口自由通路の維持管理に対するものであるが、その趣旨が広く理解されていない。				

【事業分析】

対象	㈱ティアラ21
目的	中心市街地活性化に寄与する、ティアラ21の駐車場運営及び自由通路の維持管理に対し、令和6年10月まで補助する。令和6年11月以降は、30分の無料駐車分の補填に加え駐車場・自由通路の維持管理費への費用負担を行い、引き続き、駐車場運営及び自由通路の維持管理を支援する。
手段	毎年、3,000万円を限度として事業に要した経費の一部を負担し、令和11年11月以降は750万円を上限とする。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	31,300	29,190	27,706	29,553	0	0	0
事業費	30,000	29,190	27,706	29,553	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	30,000	29,190	27,706	29,553	0	0	0
人件費計	1,300	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.17	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-02-28-01-00-00	「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　01330　「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
年間売上額	千円	355,068.00 943,419.00	355,068.00 957,514.00	355,068.00 0.00	355,068.00 0.00	355,068.00 0.00	355,068.00 0.00	355,068.00 0.00
駐車場利用台数	台	206,114.00 243,971.00	206,114.00 267,859.00	206,114.00 0.00	206,114.00 0.00	206,114.00 0.00	206,114.00 0.00	206,114.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4010000　都市整備部都市計画課　　担当者
短縮番号　00437　市街地等開発推進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	001　魅力的な中心市街地を整備する				
施策達成課題	001　魅力的な中心市街地を整備する				
基本事務事業	001　市街地等開発推進事業				
詳細事務事業	001　市街地等開発推進事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	都市再開発法、土地区画整理法、マンション建替えの円滑等に関する法律				
課題・分析	現在、上之土地区画整理事業、上石第一土地区画整理事業、籠原中央第一土地区画整理事業の３地区で施行中。				

【事業分析】

対象	市民
目的	市街地等開発事業の推進及び誘導。
手段	市街地等開発事業について、県との協議及び調整並びに研修会へ参加する。
その他	土地区画整理事業や市街地再開発事業を始めとする面的整備事業を活用し、地域の特色を生かしたまちづくりを進める。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	14,468	237	499	4,249	0	0	0
事業費	318	237	499	4,249	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	318	237	499	4,249	0	0	0
人件費計	14,150	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.85	2.93	2.91	1.36	1.36	1.36	1.36
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-07-02-01-00-00	市街地等開発推進事業	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4010000　都市整備部都市計画課
短縮番号　00437　市街地等開発推進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
市街地等開発事業（土地区画整理事業数）	地区	3.00	3.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4010000　都市整備部都市計画課　　担当者
短縮番号　02115　熊谷駅南口周辺再整備促進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	001　魅力的な中心市街地を整備する				
施策達成課題	001　魅力的な中心市街地を整備する				
基本事務事業	022　熊谷駅南口周辺再整備促進事業				
詳細事務事業	001　熊谷駅南口周辺再整備促進事業				
事業期間	令和 6年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	都市計画法・都市再生特別措置法・都市再開発法				
課題・分析	【課題】 ・熊谷駅南口周辺は、駐車場が多く、現在高度な土地利用がされていない。 ・低未利用土地の増加は、まちの賑わいが失われ、交流・居住人口や税収の減少の要因となる。 ・単発的な開発事業では、周辺と一体となったまちづくりが困難である。 【分析】 ・熊谷駅南口周辺の低未利用土地を所有する民間事業者の再整備を促進することにより、周辺の土地利用を転換する契機を創出。 ・土地利用の高度化等により、交流・居住人口や税収の増加が期待。				

【事業分析】

対象	熊谷駅南口周辺の地権者・民間事業者・近隣住民
目的	熊谷駅南口周辺の民間主体による再整備の事業化を促進し、周辺地区の土地利用の高度化を図る。
手段	民間活力導入調査、事業手法の検討、庁内や交通事業者等との検討会の開催
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	0	17,873	18,075	16,800	0	0	0
事業費	0	11,000	18,075	16,800	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	11,000	18,075	16,800	0	0	0
人件費計	0	6,873	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	1.08	0.87	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-65-01-00-00	熊谷駅南口周辺再整備促進事業	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4010000　都市整備部都市計画課
短縮番号　02115　熊谷駅南口周辺再整備促進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
熊谷駅南口周辺のまちづくりに関する市民等への情報提供	回	0.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
住み続けたいと思う市民の割合	%	0.00 0.00	55.70 43.70	55.70 0.00	55.70 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　0520000　市長公室政策調査課　　担当者
短縮番号　01802　スマートシティ推進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	002　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
施策達成課題	001　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
基本事務事業	011　スマートシティ推進事業				
詳細事務事業	001　スマートシティ推進事業				
事業期間	令和 2年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	【課題】人口減少への対策や、厳しい暑さから市民の健康を守ること、災害に強いまちをつくること等の諸課題に対し、デジタルを活用した持続的なまちづくりを推進する必要がある。 【分析】ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）を行い、課題解決を図る新しいまちづくりが必要となっている。また、持続的まちづくりに不可欠な地域の活力向上や産業の担い手育成のため、公民連携を重視した事業を展開する。				

【事業分析】

対象	市内全域
目的	AI・IoTを活用した新しいまちづくりや行政効率化の推進により、地域の魅力と持続可能性の向上を図る。
手段	政策システムの立案・システム連携に係る検討、デジタルを活用した公民連携手法の実践、熊谷スマートシティ推進協議会の運営、等
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	288,368	160,896	124,096	130,558	0	0	0
事業費	246,375	117,525	124,096	130,558	0	0	0
国庫支出金	93,291	6,079	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1,600	0	0	0	0
一般財源	153,084	111,446	122,496	130,558	0	0	0
人件費計	41,993	43,371	0	0	0	0	0
一般職員（人）	5.49	5.49	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-07-78-01-00-00	スマートシティ推進事業	市長公室政策調査課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　0520000　市長公室政策調査課
短縮番号　01802　スマートシティ推進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	2
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	5
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	３Ｄ空間データ作成等業務委託以外は原則として現状維持だが、令和７年度に単発で実施するデータドリブンシンポジウム関連予算はなくなる。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3511000　産業振興部道の駅整備室　　担当者
短縮番号　01493　東部地域開発推進室業務経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	002　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
施策達成課題	001　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
基本事務事業	006　東部地域開発推進室業務経費				
詳細事務事業	001　東部地域開発推進室業務経費				
事業期間	平成28年度 ～ 令和 9年度	12　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	都市計画法、土地区画整理法、農地法				
課題・分析	【課題】東部地域開発事業（令和7年度からは道の駅整備事業）を推進するため、国・県等の関係機関と頻繁に協議や調整等を行っており、資料（カラー含む）、交通費、燃料費等が必要となる。 【分析】協議や調整等を行うにあたり、消耗品費、旅費、自動車燃料費等を十分に確保する必要がある。				

【事業分析】

対象	協議先（国（国土交通省大宮国道事務所）、県（埼玉県庁　関係部署）等）
目的	東部地域開発事業（令和7年度から道の駅整備事業）の円滑かつ確実な推進のための事務的経費
手段	庁用車及び公共交通機関による協議のための出張。 諸協議で用いるカラー図面等の資料を作成する。 庁用車の給油や車検。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	6,420	4,406	510	595	0	0	0
事業費	332	295	510	595	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	332	295	510	595	0	0	0
人件費計	6,088	4,111	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.50	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-43-01-00-00	東部地域開発推進業務経費	産業振興部道の駅整備室

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3511000　産業振興部道の駅整備室
短縮番号　01493　東部地域開発推進室業務経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
佐谷田地区代表者会及び説明会の開催日数	日	4.00 2.00	4.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
道の駅整備事業審査会の開催日数	日	2.00 2.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
道の駅及び佐谷田地区に係る関係機関協議	回数	10.00 12.00	10.00 18.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4010000　都市整備部都市計画課　　担当者
短縮番号　00442　都市計画業務経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	002　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
施策達成課題	001　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
基本事務事業	003　都市計画業務経費				
詳細事務事業	001　都市計画業務経費				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	都市計画法、高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律				
課題・分析	課の庶務的な業務についての義務的経費であり、運営上必須であるため指標の設定は行っていない。				

【事業分析】

対象	市内全域
目的	適切な土地利用等を行い、良好な都市形成を図る。
手段	都市計画審議会の開催及びバリアフリー推進協議会の開催。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	33,917	29,775	5,391	5,066	0	0	0
事業費	6,381	4,495	5,391	5,066	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	166	137	90	1,132	0	0	0
一般財源	6,215	4,358	5,301	3,934	0	0	0
人件費計	27,536	25,280	0	0	0	0	0
一般職員（人）	3.60	3.35	3.20	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-02-01-00-00	都市計画業務経費	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4010000　都市整備部都市計画課
短縮番号　00442　都市計画業務経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4010000　都市整備部都市計画課　　担当者
短縮番号　01677　籠原駅北口駐車場維持管理経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	002　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
施策達成課題	001　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
基本事務事業	008　籠原駅北口駐車場維持管理経費				
詳細事務事業	001　籠原駅北口駐車場維持管理経費				
事業期間	平成31年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	熊谷市営駐車場条例				
課題・分析	籠原駅北口駅前市有地（面積1483.6㎡）を、アセットマネジメント等を踏まえた今後の利用が確定するまでの間、籠原駅北口駅前広場整備に併せ籠原駅利用者の送迎駐車場として暫定利用を図る。				

【事業分析】

対象	籠原駅利用者
目的	籠原駅北口駅前広場の利便性向上と混雑緩和を図る。
手段	籠原駅利用者の送迎用駐車場の維持管理をする。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	6,229	6,510	5,755	4,633	0	0	0
事業費	3,705	3,903	5,755	4,633	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	4,633	0	0	0
一般財源	3,705	3,903	5,755	0	0	0	0
人件費計	2,524	2,607	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.33	0.33	0.33	0.30	0.30	0.30	0.30
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-53-01-00-00	籠原駅北口駐車場維持管理経費	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4010000　都市整備部都市計画課
短縮番号　01677　籠原駅北口駐車場維持管理経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	1
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4010000　都市整備部都市計画課　　担当者
短縮番号　02032　都市空間情報デジタル基盤構築事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	002　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
施策達成課題	001　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
基本事務事業	025　都市空間情報デジタル基盤構築事業				
詳細事務事業	001　都市空間情報デジタル基盤構築事業				
事業期間	令和 5年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	３Ｄ都市モデルの市民による情報蓄積、活用を促進し、ニーズを掘り起こす機能が必要。 簡易な操作で、国が作成・公表した３Ｄ都市モデルに他のデータを重ねることができる、汎用的Web GISプラットフォーム「Re:Earth」を基盤として対応することが適当である。				

【事業分析】

対象	市民
目的	官民連携による３Ｄ都市モデルのデータ蓄積・オープンデータの取組を進めるための汎用的Web GISのプラットフォームを整備し、地理空間データの可視化・分析、ニーズ把握、課題解決を目指す。
手段	・３Ｄ都市モデルの市民による情報蓄積、活用促進 ・民間ニーズの掘り起こし
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	65,594	27,249	42,020	22,480	0	0	0
事業費	58,940	19,112	42,020	22,480	0	0	0
国庫支出金	29,469	9,750	0	11,217	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	29,471	9,362	42,020	11,263	0	0	0
人件費計	6,654	8,137	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.87	1.03	1.03	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-58-01-00-00	都市空間情報デジタル基盤構築事業	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4010000　都市整備部都市計画課
短縮番号　02032　都市空間情報デジタル基盤構築事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
市民への情報提供の機会	回	3.00 5.00	10.00 24.00	10.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
まちづくり課題の可視化について意見が得られた人の割合	%	50.00 81.00	50.00 83.00	50.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	基盤整備は令和７年度までで一旦完了し、令和８年度はユースケース開発のみの実施を見込む。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4010000　都市整備部都市計画課　　担当者
短縮番号　02172　スマートエコタウン支援事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	002　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
施策達成課題	001　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
基本事務事業	029　スマートエコタウン支援事業				
詳細事務事業	001　スマートエコタウン支援事業				
事業期間	令和 6年度 ～ 令和 9年度	4　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	土地区画整理法、社会資本整備総合交付金交付要綱（国土交通省）				
課題・分析	課題：残された未利用地を活用し、地域全体の活性化及び市街地形成 分析：移住者等を呼び込めるような付加価値の高い住宅と街並みを形成し、環境にやさしく、デジタル技術を活用した住宅の面的整備				

【事業分析】

対象	籠原駅周辺土地区画整理事業区域
目的	地区外からの居住誘導を図り、地域全体の活性化及び市街地形成
手段	土地区画整理事業による計画的なまちづくりと周辺市道の拡幅などを一体的に進めることで、良好な住環境の提供、避難地としての機能も有する公園を整備することと併せ、環境配慮型の良好な住環境を形成する
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	0	63,534	280,000	380,000	0	0	0
事業費	0	51,131	280,000	380,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	51,131	280,000	380,000	0	0	0
人件費計	0	12,403	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	1.30	1.57	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-07-06-01-00-00	スマートエコタウン支援事業	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4010000　都市整備部都市計画課
短縮番号　02172　スマートエコタウン支援事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4510000　建設部管理課　　担当者
短縮番号　00345　地籍調査事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	002　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
施策達成課題	001　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
基本事務事業	014　地籍調査事業				
詳細事務事業	001　地籍調査事業				
事業期間	平成17年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	国土調査法、国土調査法施行令、地籍調査作業規程準則　同運用基準、不動産登記法、土地基本法				
課題・分析	国・県からの補助金の配当額に応じ、計画した地区割りに準じて実施。				

【事業分析】

対象	地籍調査事業実施区域
目的	国土の開発及び利用等に資するため、国土の実態を科学的かつ総合的に調査するもので、その成果は、不動産登記行政の基礎資料として活用され、土地の権利関係を明確にし、税負担を公平にするほか、公共事業の円滑な実施や土地利用計画の策定、災害の際の円滑な復興などに必要な基礎資料となるものである。
手段	公共基準点を利用した測量や、土地所有者の立会いにより、毎筆の土地の境界・面積・所有者・地目及び地番を明確にする。 実施済区域における成果資料の提供及び修正登記業務。
その他	工程記号の説明 C=地籍図根三角測量　D=地籍図根多角測量　E=一筆地調査　ＦⅠ=細部図根測量　ＦⅡ-1=一筆地測量　ＦⅡ-2=地籍図原図作成　G=地積測定　H=閲覧・地籍図複図及び地籍簿の作成

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	55,569	33,753	25,939	25,988	0	0	0
事業費	44,096	21,903	25,939	25,988	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	14,481	10,622	15,922	15,173	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	29,615	11,281	10,017	10,815	0	0	0
人件費計	11,473	11,850	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.50	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-01-01-04-01-00-00	地籍調査事業	建設部管理課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4510000　建設部管理課
短縮番号　00345　地籍調査事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
実施面積（着手済）	㎢	0.16 0.16	0.05 0.05	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
成果管理面積	㎢	0.35 0.13	0.56 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
送付遅延地区解消（換算面積での割合）	%	89.18 90.67	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	5
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）	補助金は、昨年度と同様に要望額の半額であったことから、来年度も同様の額の交付が見込まれる。 人件費や作業単価の上昇傾向が続いており委託費用が増加しているため、消耗品等を圧縮した予算を要求する予定である。 地籍測量においても順次認められ始めている最新技術の積極的な利用により、経費の抑制につながっている。 令和8年度から地図混乱地域であり家屋倒壊等氾濫想定区域となっている久下・佐谷田地区の実地調査を開始すべく準備を進めている。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4510000　建設部管理課　　担当者
短縮番号　00440　道路管理経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	002　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
施策達成課題	001　暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
基本事務事業	015　道路管理経費				
詳細事務事業	001　道路管理経費				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析					

【事業分析】

対象	市民
目的	道水路の適正かつ円滑な維持管理を図る
手段	道路台帳の維持管理、道路等敷地の土地借上、購入、官民境界の確認事務を行う
その他	道路台帳修正、官民境界確認等の業務委託や、道路敷地の借上、未登記の道路敷地の土地購入など、道水路の財産管理業務に要する経費

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	218,263	217,418	71,909	86,235	0	0	0
事業費	40,807	34,138	71,909	86,235	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	40,807	34,138	71,909	86,235	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	177,456	183,280	0	0	0	0	0
一般職員（人）	23.20	23.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-02-02-01-00-00	道路管理経費	建設部管理課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4510000　建設部管理課
短縮番号　00440　道路管理経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4010000　都市整備部都市計画課　　担当者
短縮番号　02016　既存建築物バリアフリー改修促進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	003　人にやさしいまちをつくる				
施策達成課題	001　人にやさしいまちをつくる				
基本事務事業	016　既存建築物バリアフリー改修促進事業				
詳細事務事業	001　既存建築物バリアフリー改修促進事業				
事業期間	令和 5年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、社会資本整備総合交付金交付要綱（国土交通省）				
課題・分析	課題：高齢者や障がい者など全ての人が暮らしやすいユニバーサルデザインの発想に基づくまちづくり 分析：民間の既存建築物のバリアフリー化が不可欠				

【事業分析】

対象	熊谷市バリアフリー基本構想（Ｒ３改定）に定める重点整備地区内の既存の生活関連施設において、高齢者等の利用に配慮した整備等を行う事業者
目的	高齢者や障がい者など全ての人が暮らしやすいユニバーサルデザインの発想に基づくまちづくりを進める。
手段	既存建築物のバリアフリー改修に係る整備費の一部を補助する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	4,971	4,740	5,000	5,000	30,000	30,000	30,000
事業費	0	0	5,000	5,000	30,000	30,000	30,000
国庫支出金	0	0	2,500	2,500	15,000	15,000	15,000
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	2,500	2,500	15,000	15,000	15,000
人件費計	4,971	4,740	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.65	0.87	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-61-01-00-00	既存建築物バリアフリー改修促進事業	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4010000　都市整備部都市計画課
短縮番号　02016　既存建築物バリアフリー改修促進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
申請者数	件	2.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4530000　建設部維持課　　担当者
短縮番号　00462　熊谷駅南口駐車場維持管理経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	003　人にやさしいまちをつくる				
施策達成課題	001　人にやさしいまちをつくる				
基本事務事業	001　熊谷駅南口駐車場維持管理経費				
詳細事務事業	001　熊谷駅南口駐車場維持管理経費				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市営駐車場条例				
課題・分析	【課題】 駐車場管理機が長年の使用による劣化のリスクがあり、他の市所有駐車場（籠原駅駐車場等）は委託となっている中、課での直営管理となっているため、方針の見直しも要検討である。 【分析】 利用頻度は高めで推移、恒常的に混雑緩和に寄与している。料金回収は週１回行っている。駐車場管理機のリース契約満了し、無償譲渡されている。 故障等が生じる前に管理機の入替を行い、それに伴う管理の業者委託を令和8年度に行っていく予定。				

【事業分析】

対象	熊谷駅利用者の送迎 駅付近店舗の利用者 トイレ利用者
目的	熊谷駅南口ロータリー内の混雑緩和を図る。
手段	熊谷駅南口広場に設置の駐車場施設（１０台）が送迎用一般車両の駐車を引き受けることで、ロータリー内の道路の混雑緩和に寄与している。
その他	従来の駐車場管理機のリース契約が令和5年度をもって終了。入替はせずに、引き続き現在の管理機を使用していたが、経年劣化による故障の危険が高まっている。 24時間365日稼働していることからも、故障後の対応は困難であるため、令和8年度中に新管理機への入替を予定。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	7,276	4,589	1,158	3,380	0	0	0
事業費	2,075	876	1,158	3,380	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,066	876	1,158	3,380	0	0	0
一般財源	9	0	0	0	0	0	0
人件費計	5,201	3,713	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.68	0.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-02-05-01-00-00	熊谷駅南口駐車場維持管理経費	建設部維持課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4530000　建設部維持課
短縮番号　00462　熊谷駅南口駐車場維持管理経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
年間利用料金	千円	3,000.00 3,805.20	3,000.00 3,907.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	1
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）	駐車場の拡張等については、用地の確保が難しいため現状維持により、市民サービス向上を図る。但し、リース満了し、2年使用した管理機の入替・駐車場の集金等の管理業務を委託にする方針で進めていきたい。 予算については、令和5年度にリースが満了し支払いが終了していた管理機を入替、新しい管理機のリースを行うため、拡大となる。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　6110000　出納室　　担当者
短縮番号　00463　駐車場事業特別会計繰出事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	003　人にやさしいまちをつくる				
施策達成課題	001　人にやさしいまちをつくる				
基本事務事業	002　駐車場事業特別会計繰出事業				
詳細事務事業	001　駐車場事業特別会計繰出事業				
事業期間	平成23年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析					

【事業分析】

対象	
目的	駐車場事業特別会計の円滑な運営を図るため、一般会計からの繰出しを行う。
手段	
その他	令和７年度から一般会計となった。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	2,252	2,981	0	0	0	0	0
事業費	2,252	2,981	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,252	2,981	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-20-01-00-00	駐車場事業特別会計繰出事業	出納室

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　6110000　出納室
短縮番号　00463　駐車場事業特別会計繰出事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	1
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	廃止・断念	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	令和７年度から一般会計となった。		

【２次評価結果】

事業の方向性	廃止・断念	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4010000　都市整備部都市計画課　　担当者
短縮番号　00446　土地区画整理清算事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	004　土地区画整理事業を推進する				
施策達成課題	001　土地区画整理事業を推進する				
基本事務事業	001　土地区画整理清算事業				
詳細事務事業	001　土地区画整理清算事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	土地区画整理事業に伴う企業債、利子償還金の水道事業会計への支払いであり、水道部と本市との覚書に基づき負担するものであるため指標の設定は行っていない。				

【事業分析】

対象	土地区画整理事業区域内の配水管布設工事に関する負担金。
目的	土地区画整理事業の終了に伴い、各事業区域内の水道配水管布設工事に係る工事費のうち企業債利子償還金の各年度分の分担金等の費用を水道事業会計へ支払うこと。
手段	水道部と本市との覚書に基づき負担すべきものであり、土地区画整理事業の終了地区について事務引継により予算化する。
その他	該当箇所：事業終了地区である熊谷駅東部、箱田、籠原中央第二土地区画整理事業の計３事業分。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	1,595	1,104	110	35	43	43	43
事業費	372	235	110	35	43	43	43
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	372	235	110	35	43	43	43
人件費計	1,223	869	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.16	0.11	0.11	0.12	0.12	0.12	0.12
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-02-02-01-00-00	土地区画整理清算事業	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4010000　都市整備部都市計画課
短縮番号　00446　土地区画整理清算事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準			ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
	理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
	理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
	理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
	理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる		
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
	理由					

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4050000　都市整備部土地区画整理事務所　　担当者
短縮番号　00448　籠原中央第一土地区画整理実施事務経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	004　土地区画整理事業を推進する				
施策達成課題	001　土地区画整理事業を推進する				
基本事務事業	003　籠原中央第一土地区画整理実施事務経費				
詳細事務事業	001　籠原中央第一土地区画整理実施事務経費				
事業期間	昭和58年度 ～ 令和10年度	46　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	土地区画整理法				
課題・分析	審議会及び協議会への諮問、報告等は、必要に応じて実施しており、今後も土地区画整理事業の進捗を図るため適宜実施していく必要がある。				

【事業分析】

対象	事業区域内の住民及び地権者
目的	籠原中央第一土地区画整理実施事業を円滑に推進させるため。
手段	事業を円滑に推進するために必要な経費の支出及び土地区画整理審議会・協議会の開催を実施する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	3,454	2,448	1,300	3,484	0	0	0
事業費	1,542	473	1,300	3,484	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,542	473	1,300	3,484	0	0	0
人件費計	1,912	1,975	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.25	0.25	0.19	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
09-01-01-01-02-01-00-00	土地区画整理実施事務経費	都市整備部土地区画整理事務所

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4050000　都市整備部土地区画整理事務所
短縮番号　00448　籠原中央第一土地区画整理実施事務経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
協議会及び審議会の開催日数	日	1.00	1.00	1.00	2.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4050000　都市整備部土地区画整理事務所　　担当者
短縮番号　00449　籠原中央第一土地区画整理実施事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	004　土地区画整理事業を推進する				
施策達成課題	001　土地区画整理事業を推進する				
基本事務事業	004　籠原中央第一土地区画整理実施事業				
詳細事務事業	001　籠原中央第一土地区画整理実施事業				
事業期間	昭和58年度 ～ 令和10年度	46　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	土地区画整理法				
課題・分析	事業終盤を迎えたことにより、換地処分に向けた事務量の増加が見込まれているが、今後も事業の早期終結を目指して事務を進めていきたい。				

【事業分析】

対象	事業区域内の住民及び地権者
目的	道路、公園等の都市基盤を整備し、健全かつ良好な居住環境を有する宅地を整備することにより、籠原地区の中心市街地としてふさわしい機能を有する市街地の形成を図る。
手段	土地区画整理事業の特長である「換地手法」により、道路・公園等の公共施設整備改善と合わせ、土地の区画形質を変更する。
その他	・事業期間：昭和58年度～令和10年度 ・総事業費：16,190,000千円 ・熊谷都市計画事業籠原中央第一土地区画整理事業事業計画書（第８回変更） ・事業の早期完成を目指す。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	35,285	34,547	16,306	64,621	0	0	0
事業費	6,250	4,129	16,306	64,621	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,828	1,308	2,479	0	0	0	0
一般財源	4,422	2,821	13,827	64,621	0	0	0
人件費計	29,035	30,418	0	0	0	0	0
一般職員（人）	3.50	3.50	3.50	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
09-01-01-02-02-01-00-00	籠原中央第一土地区画整理実施事業	都市整備部土地区画整理事務所
09-01-01-02-90-01-00-00	籠原中央第一土地区画整理実施事業（繰越明許分）	都市整備部土地区画整理事務所

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4050000　都市整備部土地区画整理事務所
短縮番号　00449　籠原中央第一土地区画整理実施事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
街路築造進捗率	%	100.00 99.80	100.00 99.80	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
建物移転進捗率	%	100.00 99.90	100.00 99.90	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
使用収益開始率	%	100.00 98.94	100.00 98.94	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	交渉状況により、換地処分に向けて事業計画変更や換地計画作成等を行う必要がある。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4050000　都市整備部土地区画整理事務所　　担当者
短縮番号　00450　上石第一土地区画整理実施事務経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	004　土地区画整理事業を推進する				
施策達成課題	001　土地区画整理事業を推進する				
基本事務事業	005　上石第一土地区画整理実施事務経費				
詳細事務事業	001　上石第一土地区画整理実施事務経費				
事業期間	平成 4年度 ～ 令和18年度	45　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	土地区画整理法				
課題・分析	目的どおり適切に事務を遂行した。 指標としている協議会及び審議会の開催については、事業終盤を迎えたものの、諮問、報告等が必要な案件も多く残っており、土地区画整理事業の進捗を図るため適宜実施していく必要がある。				

【事業分析】

対象	事業区域内の住民及び地権者
目的	上石第一土地区画整理事業を円滑に推進させるため。
手段	事業を円滑に推進するために必要な経費の支出及び土地区画整理審議会・協議会の開催を実施する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	2,323	2,586	893	1,113	0	0	0
事業費	411	611	893	1,113	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	411	611	893	1,113	0	0	0
人件費計	1,912	1,975	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.25	0.25	0.19	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
09-01-02-01-02-01-00-00	土地区画整理実施事務経費	都市整備部土地区画整理事務所

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4050000　都市整備部土地区画整理事務所
短縮番号　00450　上石第一土地区画整理実施事務経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
協議会及び審議会の開催日数	日	2.00 2.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準			ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
	理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
	理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
	理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
	理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる		3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
	理由					

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4050000　都市整備部土地区画整理事務所　　担当者
短縮番号　00451　上石第一土地区画整理実施事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	004　土地区画整理事業を推進する				
施策達成課題	001　土地区画整理事業を推進する				
基本事務事業	006　上石第一土地区画整理実施事業				
詳細事務事業	001　上石第一土地区画整理実施事業				
事業期間	平成 4年度 ～ 令和18年度	45　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	土地区画整理法				
課題・分析	昨年度、事業計画を変更し事業期間を５年延長したが、おおむね順調に事業を進めることができている。				

【事業分析】

対象	事業区域内の住民及び地権者
目的	道路、公園等の都市基盤を整備し、健全かつ良好な居住環境を有する宅地を整備することにより、今後の住宅需要に対応した計画的な住宅市街地を形成する。
手段	土地区画整理事業の特長である「換地手法」により、道路・公園等の公共施設整備改善と合わせ、土地の区画形質を変更する。
その他	・事業期間：平成4年～令和18年度 ・総事業費：8,100,000千円 ・社会資本整備総合交付金を活用し整備を進める。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	88,205	128,737	291,594	304,461	0	0	0
事業費	61,434	101,087	291,594	304,461	0	0	0
国庫支出金	490	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,188	41	18,870	0	0	0	0
一般財源	59,756	101,046	272,724	304,461	0	0	0
人件費計	26,771	27,650	0	0	0	0	0
一般職員（人）	3.50	3.50	3.50	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
09-01-02-02-02-01-00-00	上石第一土地区画整理実施事業	都市整備部土地区画整理事務所

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4050000　都市整備部土地区画整理事務所
短縮番号　00451　上石第一土地区画整理実施事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
街路築造進捗率	%	68.90	74.73	75.65	88.28	0.00	0.00	0.00
		68.12	82.97	87.10	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建物移転率	%	98.00	97.54	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00
		97.13	97.54	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4050000　都市整備部土地区画整理事務所　　担当者
短縮番号　00452　上之土地区画整理実施事務経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	004　土地区画整理事業を推進する				
施策達成課題	001　土地区画整理事業を推進する				
基本事務事業	007　上之土地区画整理実施事務経費				
詳細事務事業	001　上之土地区画整理実施事務経費				
事業期間	平成 5年度 ～ 令和24年度	50　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	土地区画整理法・熊谷都市計画事業土地区画整理事業施行規程に関する条例				
課題・分析	審議会及び協議会への諮問、報告等は土地区画整理事業実施のため必要であり、事業の進捗を図るため実施していかなければならない。				

【事業分析】

対象	事業区域内の住民及び地権者
目的	上之土地区画整理事業を円滑に推進させるため。
手段	事業を円滑に推進するために必要な経費の支出及び土地区画整理審議会・協議会の開催を実施する。 区画整理だよりを発行し、地権者に進捗状況を周知する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	6,810	7,269	4,860	5,249	0	0	0
事業費	2,986	3,319	4,860	5,249	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	20	20	20	20	0	0	0
一般財源	2,966	3,299	4,840	5,229	0	0	0
人件費計	3,824	3,950	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.50	0.50	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
09-01-03-01-02-01-00-00	土地区画整理実施事務経費	都市整備部土地区画整理事務所

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4050000　都市整備部土地区画整理事務所
短縮番号　00452　上之土地区画整理実施事務経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
協議会及び審議会の開催日数	日	3.00 2.00	3.00 3.00	3.00 0.00	3.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4050000　都市整備部土地区画整理事務所　　担当者
短縮番号　00453　上之土地区画整理実施事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	004　土地区画整理事業を推進する				
施策達成課題	001　土地区画整理事業を推進する				
基本事務事業	008　上之土地区画整理実施事業				
詳細事務事業	001　上之土地区画整理実施事業				
事業期間	平成 5年度 ～ 令和24年度	50　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	土地区画整理法・熊谷都市計画事業土地区画整理事業施行規程に関する条例				
課題・分析	事業が長期化しており地域、地権者及び議会並びに国及び県から早期完了を目指すよう求められている。 そのため、事業進捗を図る上で一定規模の人員及び単年度事業予算を確保することは不可欠である。				

【事業分析】

対象	事業区域内の住民及び地権者
目的	道路、公園等の都市基盤を整備し、健全かつ良好な居住環境を有する宅地を整備することにより、スプロール化した市街地近郊の地域を秩序ある住宅市街地に形成していく。
手段	土地区画整理事業の特長である「換地手法」により、道路・公園等の公共施設整備改善と合わせ、土地の区画形質を変更し、良好な居住地を造成する。
その他	・事業期間：平成5年～令和24年度(清算期間を含む) ・総事業費：28,450,000千円 ・社会資本整備総合交付金等の補助金を有効に使い、事業の進捗を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	1,179,516	811,005	943,529	1,608,845	0	0	0
事業費	1,116,060	745,037	943,529	1,608,845	0	0	0
国庫支出金	71,764	56,215	33,120	24,600	0	0	0
県支出金	10,402	15,076	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	4,613	9,080	50,362	0	0	0	0
一般財源	1,029,281	664,666	860,047	1,584,245	0	0	0
人件費計	63,456	65,968	0	0	0	0	0
一般職員（人）	8.00	8.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
09-01-03-02-02-01-00-00	上之土地区画整理実施事業	都市整備部土地区画整理事務所
09-01-03-02-90-01-00-00	上之土地区画整理実施事業（繰越明許分）	都市整備部土地区画整理事務所

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4050000　都市整備部土地区画整理事務所
短縮番号　00453　上之土地区画整理実施事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
街路築造進捗率	%	39.40	40.70	41.00	41.00	0.00	0.00	0.00
		39.10	39.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建物移転進捗率	%	63.30	65.90	68.50	73.50	0.00	0.00	0.00
		62.80	65.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）	玉突き移転対象者等への仮住居費用相当額の補償費導入により移転棟数の増加が見込まれ、街路等インフラ整備の大幅な促進を図り、事業進捗を向上させる必要がある。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　6110000　出納室　　担当者
短縮番号　00447　土地区画整理事業特別会計繰出事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001　安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	004　土地区画整理事業を推進する				
施策達成課題	001　土地区画整理事業を推進する				
基本事務事業	002　土地区画整理事業特別会計繰出事業				
詳細事務事業	001　土地区画整理事業特別会計繰出事業				
事業期間	平成23年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析					

【事業分析】

対象	上石第一地区、上之地区の各土地区画整理事業特別会計に対して
目的	土地区画整理事業特別会計の円滑な運営を図るため一般会計からの繰出しを行う。
手段	
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	1,263,319	1,100,918	1,367,960	1,367,960	0	0	0
事業費	1,263,319	1,100,918	1,367,960	1,367,960	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,263,319	1,100,918	1,367,960	1,367,960	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-02-10-01-00-00	土地区画整理事業特別会計繰出事業	出納室

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　6110000　出納室
短縮番号　00447　土地区画整理事業特別会計繰出事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	土地区画整理事業特別会計の円滑な運営を図るため、一般会計からの繰出しを行っており、引き続き実施する必要がある。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4010000　都市整備部都市計画課　　担当者
短縮番号　00850　景観形成事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	002　熊谷らしい景観を守り、つくり、育てる				
施策	001　熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る				
施策達成課題	001　熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る				
基本事務事業	002　景観形成事業				
詳細事務事業	001　景観形成事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	景観法、熊谷市景観計画及び熊谷市景観条例、屋外広告物法及び熊谷市屋外広告物条例				
課題・分析	景観計画、景観条例に基づく届出及び屋外広告物条例に基づく許可申請に対する審査、助言を行った。 また、景観意識を高めるため景観写真展を開催している。				

【事業分析】

対象	市民及び事業者
目的	景観計画及び景観条例に基づく届出に対する審査・助言及び市民、事業者・団体に対して指導・意識啓発等を行うことにより、市民が美しいと思う景観の形成誘導を図る。 また、屋外広告物条例に基づく許可申請に対する審査・指導等を行い、景観形成を誘導する。
手段	届出が景観形成基準に適合するか審査・助言を行うとともに、地区の魅力ある景観形成を目的とした活動団体等を支援する。 また、屋外広告物条例に基づく許可申請が審査基準等に適合するか審査・助言を行う。
その他	景観審議会の開催

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	10,926	8,813	744	229	0	0	0
事業費	65	281	744	229	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	744	229	0	0	0
一般財源	65	281	0	0	0	0	0
人件費計	10,861	8,532	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.42	1.08	1.08	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-17-01-00-00	景観形成事業	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4010000　都市整備部都市計画課
短縮番号　00850　景観形成事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
熊谷市の景観を美しいと思う市民の割合	%	55.00 45.40	55.00 46.80	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
住み続けたいと思う市民の割合	%	55.00 47.70	55.00 43.70	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1 事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由				
2 事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由				
3 事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由				
4 事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由				
5 事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	事業縮小	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	令和７年度のフォトコンテストを含め、１５年間実施してきた景観写真展については、近年は応募者が特定の市民に偏る傾向があり、応募作品数が伸び悩んでいる。また、これまでの取組で景観に関する写真がある程度蓄積され、普及啓発にも一定の役割を果たしたと考えられることから、２０周年事業を節目として、事業を廃止する。		

【２次評価結果】

事業の方向性	事業縮小	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4010000　都市整備部都市計画課　　担当者
短縮番号　02017　景観誘導地区景観まちづくり事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	002　熊谷らしい景観を守り、つくり、育てる				
施策	001　熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る				
施策達成課題	001　熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る				
基本事務事業	008　景観誘導地区景観まちづくり事業				
詳細事務事業	001　景観誘導地区景観まちづくり事業				
事業期間	令和 5年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	景観法、熊谷市景観条例及び景観計画				
課題・分析	・景観計画に基づいた良好な景観形成を推進するため、景観意識の醸成や担い手の育成等が必要となる。 ・良好な景観形成を図るためには、市民及び事業者等の協力が不可欠である。 ・市民や事業者等との協働により景観意識の醸成や担い手の育成を図り、市民及び事業者等による主体的、持続的な取組を支援する。				

【事業分析】

対象	市民及び来訪者
目的	景観誘導地区のうち「妻沼聖天山周辺歴史景観誘導地区」で進めてきた取組を継続するとともに「熊谷中心市街地にぎわい景観誘導地区」へ拡大することにより、市民一人ひとりが愛着と誇りを持つことができる景観の継承と創造に資するまちづくりを目指す。
手段	・良好な景観の形成 ・シティプロモーションへの寄与 ・関係団体、機関との協働・連携促進
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	12,402	10,817	12,575	466	0	0	0
事業費	317	547	12,575	466	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	317	547	12,575	466	0	0	0
人件費計	12,085	10,270	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.58	0.98	1.30	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-62-01-00-00	景観誘導地区景観まちづくり事業	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4010000　都市整備部都市計画課
短縮番号　02017　景観誘導地区景観まちづくり事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
熊谷市の景観を美しいと思う市民の割合	%	55.00 45.40	55.00 46.80	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
住み続けたいと思う市民の割合	%	55.70 47.70	55.70 43.70	55.70 0.00	55.70 0.00	55.70 0.00	55.70 0.00	55.70 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	事業完了	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	熊谷中心市街地にぎわい景観誘導地区の景観まちづくりビジョン策定及び妻沼分団車庫のシャッターの修景業務が完了したため、事業費が減額。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4020000　都市整備部開発審査課　　担当者
短縮番号　00457　開発審査業務経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	002　熊谷らしい景観を守り、つくり、育てる				
施策	001　熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る				
施策達成課題	001　熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る				
基本事務事業	001　開発審査業務経費				
詳細事務事業	001　開発審査業務経費				
事業期間	令和 5年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	都市計画法、宅地造成及び特定盛土等規制法				
課題・分析	申請件数は前年度よりやや減少しているが、概ね目標値の水準にある。違反是正指導については、関係各課と協力・連携して対応している。				

【事業分析】

対象	市民
目的	都市計画法等の適正な施行により、良好な都市環境を守るとともに、無秩序な宅地開発等を防止する。
手段	都市計画法等に基づく開発行為等の許可申請受付、審査、検査、交付、指導。
その他	平成２１年度特例市に移行したことにより「開発審査会」に関する事務を行う。 令和３年度から現在の開発許可システムが稼働開始。 令和７年度から宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく一部事務を開始。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	62,676	60,389	2,077	2,151	0	0	0
事業費	1,484	1,658	2,077	2,151	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,484	1,658	2,077	2,151	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	61,192	58,731	0	0	0	0	0
一般職員（人）	8.00	7.00	0.00	8.00	8.00	8.00	8.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-03-01-00-00	開発審査業務経費	都市整備部開発審査課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4020000　都市整備部開発審査課
短縮番号　00457　開発審査業務経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
都市計画法に基づく各種申請件数	件	950.00 926.00	950.00 850.00	950.00 0.00	950.00 0.00	950.00 0.00	950.00 0.00	950.00 0.00
都市計画法是正指導件数	件	10.00 21.00	10.00 21.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	5
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4025000　都市整備部建築審査課　　担当者
短縮番号　00927　建築審査業務経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	002　熊谷らしい景観を守り、つくり、育てる				
施策	001　熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る				
施策達成課題	001　熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る				
基本事務事業	003　建築審査業務経費				
詳細事務事業	001　建築審査業務経費				
事業期間	平成22年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	建築基準法				
課題・分析	平成22年度の特定行政庁移行に伴う事務移譲により、事務量・経費が大幅に増加している。				

【事業分析】

対象	市民
目的	特定行政庁に移行することにより、全ての建築物の建築確認業務等を行えるようになり、利便性の向上を図る。
手段	建築基準法に基づく各種申請受付、審査、交付について、木造住宅程度の業務から建築物全ての業務を行うこととなる。
その他	平成22年度の特定行政庁移行に伴う事務移譲により、市内における建築の確認申請、違反建築物に対する是正命令等の建築行政全般を司るすべての事務権限を持つ行政機関となった。事務量、経費が大幅に増加したが、今後とも変化する法規に対応し安定した事務の継続を図るため、事務の効率化、適正な人員、予算が必要となる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	85,752	84,927	5,761	6,136	0	0	0
事業費	4,321	4,344	5,761	6,136	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,944	2,251	2,882	0	0	0	0
一般財源	2,377	2,093	2,879	6,136	0	0	0
人件費計	81,431	80,583	0	0	0	0	0
一般職員（人）	10.35	9.85	10.85	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-22-01-00-00	建築審査業務経費	都市整備部建築審査課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4025000　都市整備部建築審査課
短縮番号　00927　建築審査業務経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
建築確認等申請件数	件	2,332.00 3,972.00	2,332.00 4,194.00	2,332.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
完了検査申請件数	件	129.00 5.00	129.00 5.00	129.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	5
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）	取扱い申請件数は前年度比増となり、今後も漸増が見込まれる。 また、定量評価対象外の事務として、熊谷市中高層建築物の建築に係る紛争の防止及び調整に関する条例に基づく初の調停案件が生じ、熊谷市建築紛争紛争調停委員会が開催された（令和７年７月記入時点継続中）。 関連事務等に相当の時間を要しているが、今後同様の案件の発生も想定される。 同じく、来年度には耐震改修促進計画の改訂が見込まれており、関連する事務が今年度から生じている。 以上から、事業及び予算の大枠としての方向性は現状維持としているが、これらに対応しうる予算と人員の確保が必要となる。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4510000　建設部管理課　　担当者
短縮番号　00467　土木業務経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	001　生活道路の整備を進める				
施策達成課題	001　生活道路の整備を進める				
基本事務事業	001　土木業務経費				
詳細事務事業	001　土木業務経費				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析					

【事業分析】

対象	市民
目的	道路等を適切に管理するため
手段	道路等管理瑕疵賠償責任保険への加入、道路協会等の負担金負担など
その他	・道路等管理瑕疵賠償責任保険料 ・諸団体負担金

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	10,166	9,964	2,955	3,271	0	0	0
事業費	2,517	2,064	2,955	3,271	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,517	2,064	2,955	3,271	0	0	0
人件費計	7,649	7,900	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-01-01-02-01-00-00	土木業務経費	建設部管理課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4510000　建設部管理課
短縮番号　00467　土木業務経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4520000　建設部道路課　　担当者
短縮番号　00468　道路橋りょう業務経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	001　生活道路の整備を進める				
施策達成課題	001　生活道路の整備を進める				
基本事務事業	002　道路橋りょう業務経費				
詳細事務事業	001　道路橋りょう業務経費				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	課題 国や県で行う道路整備事業を市として推進するため、関係自治体と同盟会等を組織し要望活動等により地元の熱意を強く働きかけている。熊谷市が事務局の同盟会については、各会員市町の意向も汲み取りながら要望内容を取りまとめる必要があり、要望書にいかに表現するかを苦慮している。 分析 要望活動への地元首長の出席は、国、県予算の獲得に大いに影響するとのことである。市長は積極的に出席しているので、この業務経費は熊谷市に関連する道路整備の促進に貢献している。				

【事業分析】

対象	市民生活の安定及び向上を目的に幹線道路等の整備促進を図るため設立された同盟会及び協議会
目的	国、県の関係機関等へ要望活動などを行う。
手段	同盟会及び協議会の会員となることによる。
その他	関東国道協会、直轄国道沿道協議会、熊谷バイパス建設促進期成同盟会、県道青山熊谷線整備促進期成同盟会、国道125号バイパス建設促進期成同盟会、道路整備促進期成同盟会、上武国道建設期成同盟会、利根川新橋建設促進期成同盟会

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	10,367	8,982	480	472	0	0	0
事業費	271	292	480	472	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	271	292	480	472	0	0	0
人件費計	10,096	8,690	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.32	1.10	1.10	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-01-02-01-00-00	道路橋りょう業務経費	建設部道路課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4520000　建設部道路課
短縮番号　00468　道路橋りょう業務経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4520000　建設部道路課　　担当者
短縮番号　00474　道路整備事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	001　生活道路の整備を進める				
施策達成課題	001　生活道路の整備を進める				
基本事務事業	006　道路整備事業				
詳細事務事業	001　道路整備事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	道路法				
課題・分析	道路整備延長は目標値に近くなっているが、要望件数に対して整備完了件数が追い付かず整備率が上がらない状況である。				

【事業分析】

対象	狭あい道路の利用者
目的	道路冠水の防止、交通安全の確保、生活排水の処理先の確保による良好な生活環境の整備。
手段	陳情や要望に基づく側溝整備や道路拡幅等の工事
その他	平成20年度から、熊谷市道路事業評価システムにより公平かつ効果的に事業を実施している。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	378,245	399,172	455,223	494,153	0	0	0
事業費	319,654	332,022	455,223	494,153	0	0	0
国庫支出金	32,405	44,036	67,800	40,000	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	47,200	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	287,249	287,986	340,223	454,153	0	0	0
人件費計	58,591	67,150	0	0	0	0	0
一般職員（人）	7.66	8.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-03-03-01-00-00	道路整備事業	建設部道路課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4520000　建設部道路課
短縮番号　00474　道路整備事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
道路整備延長	m	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	0.00	0.00
		3,196.51	2,721.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	5
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4520000　建設部道路課　　担当者
短縮番号　02024　秩父鉄道大麻生№９踏切交通安全対策事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	001　生活道路の整備を進める				
施策達成課題	001　生活道路の整備を進める				
基本事務事業	021　秩父鉄道大麻生№９踏切交通安全対策事業				
詳細事務事業	001　秩父鉄道大麻生№９踏切交通安全対策事業				
事業期間	令和 5年度 ～ 令和 6年度	2　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	道路法				
課題・分析	秩父鉄道大麻生NO.9踏切は幅員が狭く、車両のすれ違いが困難であり、県立熊谷特別支援学校の送迎バス等通行時には、逆方向からの通行は出来ず滞留した車両で危険な状況となっている。また、隣接する大麻生NO.8踏切では、乗用車と電車の衝突事故も発生していることから、この地域の交通安全対策として、市道70489号線と大麻生NO.9踏切を拡幅し、大麻生NO.8踏切を廃止する。				

【事業分析】

対象	市道70489号線 秩父鉄道大麻生NO.9踏切
目的	市道70489号線と秩父鉄道大麻生NO.9踏切を拡幅整備することにより、地域交通の安全確保を図る。
手段	市道70489号線を拡幅する。 秩父鉄道大麻生NO.9踏切を拡幅する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	1,223	113,152	0	0	0	0	0
事業費	0	107,543	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	107,543	0	0	0	0	0
人件費計	1,223	5,609	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.16	0.71	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-03-43-01-00-00	秩父鉄道大麻生Ｎｏ．９踏切交通安全対策事業	建設部道路課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4520000　建設部道路課
短縮番号　02024　秩父鉄道大麻生№９踏切交通安全対策事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
事業進捗率【累計】	%	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
事業進捗率【累計】	%	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	事業完了	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	事業完了	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4530000　建設部維持課　　担当者
短縮番号　00470　市役所通線立体交差維持管理経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	001　生活道路の整備を進める				
施策達成課題	001　生活道路の整備を進める				
基本事務事業	003　市役所通線立体交差維持管理経費				
詳細事務事業	001　市役所通線立体交差維持管理経費				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	道路法第42条				
課題・分析	【課題】 経年劣化により補修を要する箇所が増加している 【分析】 必要に応じて大規模な修繕工事を計画的に進める。				

【事業分析】

対象	道路の利用者
目的	熊谷市街地の南北を結ぶ幹線市道で、経済・交通の動脈として定着した本施設について、安全な通行を最優先に機能を維持管理していく。
手段	排水ポンプ施設、照明施設、安全管理のための委託 令和3年度に修繕計画を策定、令和5年度に修繕設計を行い。設計分については令和6年度に修繕を実施した。
その他	平成１１年３月供用開始 交差延長39.6m　車道幅員7.0m　歩道幅員3.0m　ポンプ施設、ギャラリー施設等

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	13,390	44,276	55,004	90,126	0	0	0
事業費	8,419	41,748	55,004	90,126	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	36,900	48,400	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,419	4,848	6,604	90,126	0	0	0
人件費計	4,971	2,528	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.65	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-02-04-01-00-00	市役所通線立体交差維持管理経費	建設部維持課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4530000　建設部維持課
短縮番号　00470　市役所通線立体交差維持管理経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4530000　建設部維持課　　担当者
短縮番号　00471　維持課分室維持管理経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	001　生活道路の整備を進める				
施策達成課題	001　生活道路の整備を進める				
基本事務事業	004　維持課分室維持管理経費				
詳細事務事業	001　維持課分室維持管理経費				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	【課題】 施設の老朽化が進み、使用設備の故障が増えてきている。分室を使用している補修係は砂利敷き等の現場作業を担っており、適切な維持管理が求められる。 【分析】 故障等の速やかな修繕や、また、近年の酷暑により外作業の環境が一層厳しいものになっているため、職員の健康を守るためにも適宜、必要な設備の更新を行っていく。				

【事業分析】

対象	維持課分室の施設の適切な維持管理。
目的	分室は直営にて道路補修作業を実施するための組織であり、その施設を適切に維持管理することで、作業効率の向上に寄与する。
手段	賃金、需用費、委託料、使用料等により、施設の適切な管理を図る。
その他	分室敷地6437.4㎡、施設(建物) 8棟610.36㎡

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	13,094	15,466	3,900	5,539	0	0	0
事業費	2,233	4,090	3,900	5,539	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	265	3	3	0	0	0
一般財源	2,231	3,825	3,897	5,536	0	0	0
人件費計	10,861	11,376	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.42	1.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-02-06-01-00-00	維持課分室維持管理経費	建設部維持課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4530000　建設部維持課
短縮番号　00471　維持課分室維持管理経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4530000　建設部維持課　　担当者
短縮番号　00475　橋りょう整備事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	001　生活道路の整備を進める				
施策達成課題	001　生活道路の整備を進める				
基本事務事業	007　橋りょう整備事業				
詳細事務事業	001　橋りょう整備事業				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	道路法第４２条				
課題・分析	【課題】 橋りょう定期点検により健全度Ⅲと判定された橋りょうについては、点検から5年以内に必要な措置を講じなければならない。 （平成26～平成30年度橋りょう定期点検健全度Ⅲ判定　道路橋35橋、横断歩道橋2橋） （令和1～令和5年度　橋りょう定期点検健全度Ⅲ判定　道路橋3橋、横断歩道橋3橋【令和6年3月末】） 【分析】 橋りょうDX化事業において実証実験が完了したデジタル技術を活用した点検手法を導入する。				

【事業分析】

対象	橋りょうの利用者
目的	大規模な改修工事が必要となる前に補修を行い、橋りょうの機能を維持することで、利用者の安全確保と経費削減を図る。
手段	橋りょうの定期点検及び補修・修繕工事
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	216,471	243,839	257,237	515,022	0	0	0
事業費	204,921	236,018	257,237	515,022	0	0	0
国庫支出金	100,515	85,206	60,582	257,950	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	104,406	150,812	196,655	257,072	0	0	0
人件費計	11,550	7,821	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.51	0.99	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-04-03-01-00-00	橋りょう整備事業	建設部維持課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4530000　建設部維持課
短縮番号　00475　橋りょう整備事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
橋りょう定期点検数	橋	240.00 237.00	240.00 214.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
横断歩道橋定期点検	橋	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4530000　建設部維持課　　担当者
短縮番号　00469　道路維持経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	001　生活道路の整備を進める				
施策達成課題	001　生活道路の整備を進める				
基本事務事業	009　道路維持経費				
詳細事務事業	001　道路維持経費				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	道路法第４２条				
課題・分析	【課題】 管理施設の移管等により、対象施設は年々増加している。 主に道路補修や除草に対する要望が増加し、苦情は排水対策などが多くなっている。 【分析】 適正な施工規模や工事発注時期の設定、施工調整によりコスト縮減を図っている。				

【事業分析】

対象	道路の利用者
目的	市内の市道を常時良好な状態で維持管理し、円滑な道路交通を確保する。
手段	直営補修、外注補修、管理・保守・点検委託等
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	1,050,415	1,147,779	1,014,159	1,312,769	0	0	0
事業費	905,467	985,276	1,014,159	1,312,769	0	0	0
国庫支出金	0	23,531	0	0	0	0	0
県支出金	0	3,201	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	715	8,058	2,773	158	0	0	0
一般財源	904,752	950,486	1,011,386	1,312,611	0	0	0
人件費計	144,948	162,503	0	0	0	0	0
一般職員（人）	18.95	20.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-02-03-01-00-00	道路維持経費	建設部維持課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4530000　建設部維持課
短縮番号　00469　道路維持経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
補修作業発注件数	件	0.00 97.00	0.00 105.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
除草面積	㎡	350,000.00 338,854.00	385,000.00 378,272.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
舗装打替面積	㎡	0.00 57,188.80	0.00 47,485.10	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）	新規取組事業名：籠原駅自由通路大規模修繕事業 既存事業分（事務事業評価）の１次コメント：籠原駅自由通路大規模修繕事業（新規取組）を除いて現状維持		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4530000　建設部維持課　　担当者
短縮番号　01622　自転車通行環境整備事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	001　生活道路の整備を進める				
施策達成課題	001　生活道路の整備を進める				
基本事務事業	016　自転車通行環境整備事業				
詳細事務事業	001　自転車通行環境整備事業				
事業期間	平成30年度 ～ 令和 8年度	9　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	道路法第42条				
課題・分析	【課題】 自転車活用推進計画に基づいた自転車通行環境の整備の推進 【分析】 市内北大通線、籠原南地区、東武線跡地について、4箇年に分けて計画的に自転車通行環境の整備をおこなう 。				

【事業分析】

対象	北大通り、籠原南、東武線跡地における自転車利用者及び歩行者
目的	北大通り、籠原南、東武線跡地での歩行者及び自転車通行者の安全性・快適性を高め、より回遊しやすいまちを目指す。
手段	道路の左右に自転車通行帯等の区画線を設置する。
その他	事業期間令和5年度～令和8年度 令和5年度　Ｌ＝5.8ｋｍ　令和6年度　Ｌ＝4.1ｋｍ　令和7年度　Ｌ＝3.6ｍ　令和8年度　Ｌ＝6.7ｋｍ

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	50,401	41,080	66,000	77,760	0	0	0
事業費	48,795	37,525	66,000	77,760	0	0	0
国庫支出金	18,466	11,729	19,470	74,000	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	30,329	25,796	46,530	3,760	0	0	0
人件費計	1,606	3,555	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.21	0.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-02-23-01-00-00	自転車通行環境整備事業	建設部維持課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4530000　建設部維持課
短縮番号　01622　自転車通行環境整備事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
熊谷地区工事延長	ｋｍ	1.90 0.80	2.00 1.86	2.00 0.00	2.20 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
籠原南地区工事延長	ｋｍ	0.90 0.90	1.20 1.25	0.70 0.00	0.70 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
東武線跡地工事延長	ｋｍ	3.00 1.70	0.90 0.68	0.90 0.00	3.80 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4530000　建設部維持課　　担当者
短縮番号　02062　橋りょう点検ＤＸ化事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	001　生活道路の整備を進める				
施策達成課題	001　生活道路の整備を進める				
基本事務事業	022　橋梁点検ＤＸ化事業				
詳細事務事業	001　橋りょう点検ＤＸ化事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	道路法４２条				
課題・分析	【課題】 道路橋については法令により５年に１度の点検が義務づけられているが、現在、橋梁点検車や梯子等による近接目視点検を実施している。国土交通省から、新技術等の活用を行いコスト縮減の検討が求められている。 【分析】 令和5年度は橋梁点検のDX化に向け実証実験を行い、令和6年度は橋梁点検へのＤＸ化の本格導入に向け、点検結果の検証や課題の抽出を目的とした実証実験を行った。令和7年度以降は、デジタル技術におけるＡＩ解析技術の適用性等について検証を行う。				

【事業分析】

対象	道路管理者（熊谷市）
目的	道路法で義務付けられた５年に一度の橋りょう点検について、デジタル技術等を活用し、点検作業の効率化、コスト削減を図る。
手段	点群データによる３Dモデルを作成し、３Dモデル上で損傷状況等の確認を行う。
その他	検証を終えた点検作業は「橋りょう整備事業」にて実施することにより、補助金の対象事業として取り扱える。本事業では、新たな技術等を活用した実証実験を行っていく。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	12,114	12,439	14,000	15,325	0	0	0
事業費	10,967	10,780	14,000	15,325	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,967	10,780	14,000	15,325	0	0	0
人件費計	1,147	1,659	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.15	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-04-07-01-00-00	橋りょう点検ＤＸ化事業	建設部維持課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4530000　建設部維持課
短縮番号　02062　橋りょう点検ＤＸ化事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
DX実証実験橋りょう	橋	20.00 20.00	20.00 20.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4540000　建設部河川課　　担当者
短縮番号　01008　排水路等維持管理経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	001　生活道路の整備を進める				
施策達成課題	001　生活道路の整備を進める				
基本事務事業	010　排水路等維持管理経費				
詳細事務事業	001　排水路等維持管理経費				
事業期間	平成22年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	高齢化等による地先管理が困難な排水路等の環境改善要望が増加している。 数多くある要望や陳情の中から緊急度などを勘案し、限られた予算の中で計画的に排水路等の維持管理及び整備を行っている。 令和６年度から旧成田堰用水土地改良区区域内の用水路約２５kmの移管を受けるため、除草等の維持管理費用の増加が見込まれる。				

【事業分析】

対象	熊谷市で管理する排水路等
目的	市民が安心して生活できるよう水路の維持管理を行う。また、集中豪雨等による水路からの溢水や、生活雑排水混入による悪臭等の水路環境悪化の改善を図る。
手段	地元対応が困難な排水路敷地内の除草等要望を、業者委託等により対応する。また、整備要望に対しては、U字溝を敷設する整備工事を行う。
その他	土地改良区等から農業用として利用しなくなった水路の管理移管の相談が増えており、市が管理する排水路が年々増えている。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	171,676	197,427	200,577	317,234	0	0	0
事業費	155,614	180,837	200,577	317,234	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	155,614	180,837	200,577	317,234	0	0	0
人件費計	16,062	16,590	0	0	0	0	0
一般職員（人）	2.10	2.10	2.10	2.10	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-02-16-01-00-00	排水路等維持管理経費	建設部河川課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4540000　建設部河川課
短縮番号　01008　排水路等維持管理経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
水路管理業務委託箇所数	箇所	50.00 53.00	50.00 70.00	50.00 0.00	50.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
排水路等整備箇所数	箇所	6.00 6.00	6.00 5.00	6.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	5
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4520000　建設部道路課　　担当者
短縮番号　01860　通学路整備事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	002　通学路の交通安全対策を進める				
施策達成課題	001　通学路の交通安全対策を進める				
基本事務事業	002　通学路整備事業				
詳細事務事業	001　通学路整備事業				
事業期間	令和 4年度 ～ 令和 7年度	4　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	道路法				
課題・分析	久保島地内における玉井小・玉井中の通学路の安全確保が図られる。				

【事業分析】

対象	玉井小学校の児童及び玉井中学校の生徒
目的	通学路の安全確保
手段	用地買収及び工事
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	32,119	35,744	145,000	0	0	0	0
事業費	14,909	20,497	145,000	0	0	0	0
国庫支出金	4,675	9,100	46,200	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,234	11,397	98,800	0	0	0	0
人件費計	17,210	15,247	0	0	0	0	0
一般職員（人）	2.25	1.93	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-03-03-01-00-00	道路整備事業	建設部道路課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4520000　建設部道路課
短縮番号　01860　通学路整備事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
事業進捗率【累計】	%	0.00	35.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	26.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	事業完了	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	令和７年度事業完了見込み		

【２次評価結果】

事業の方向性	事業完了	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4510000　建設部管理課　　担当者
短縮番号　01692　道路空洞調査事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	003　幹線道路を計画的に整備する				
施策達成課題	001　幹線道路を計画的に整備する				
基本事務事業	016　道路空洞調査事業				
詳細事務事業	001　道路空洞調査事業				
事業期間	平成31年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	市道の延長は、現在約2,400kmに及んでおり、市道全域の空洞化調査を実施することは非常に難しい。よって、緊急輸送路である幹線等で下水道幹線など埋設されている箇所について実施する。今後については、道路管理瑕疵で保険対応となった路線等を中心に実施していくこととする。				

【事業分析】

対象	①道路陥没事故が発生した場合に大きな影響がある幹線であること ②災害時の救援活動に不可欠である緊急輸送路であること ③下水道幹線が埋設されている箇所であること
目的	市道の空洞化調査を行い、路面下の安全性を確認する。
手段	路面下空洞探査車を用いて地中レーダー探査実施を行う。
その他	市道の空洞化調査における一次調査を実施し、路面下の状況によっては、詳細な調査を実施するか、緊急に修繕を行う必要があるかを確認する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	4,361	4,607	4,000	4,620	0	0	0
事業費	3,597	3,817	4,000	4,620	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,597	3,817	4,000	4,620	0	0	0
人件費計	764	790	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-02-25-01-00-00	道路空洞調査事業	建設部管理課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4510000　建設部管理課
短縮番号　01692　道路空洞調査事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4520000　建設部道路課　　担当者
短縮番号　00490　都市計画街路業務経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	003　幹線道路を計画的に整備する				
施策達成課題	001　幹線道路を計画的に整備する				
基本事務事業	003　都市計画街路業務経費				
詳細事務事業	001　都市計画街路業務経費				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	課題 街路事業に関する協議会への負担金、出張旅費等 分析 熊谷市では現在街路事業は実施していないものの、他自治体の事例などに触れることにより知見を増やし、将来計画に反映することが重要と考えられる。				

【事業分析】

対象	協議会
目的	高速自動車道や国道などと連絡する広域幹線道路をはじめ、市の拠点間を結び都市の動脈となる道路交通網の体系的な構築や無電柱化を促進するための要望活動等を実施する協議会に参加する。
手段	会員となる。
その他	全国街路事業促進協議会（昭和40年11月15日設立、会長：広島市長） 埼玉県街路事業推進協議会（平成4年8月27日設立、会長：和光市長） 無電柱化を推進する市区町村長の会（平成27年10月20日設立　会長：鎌倉市長）

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	6,474	3,533	96	96	0	0	0
事業費	49	57	96	96	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	49	57	96	96	0	0	0
人件費計	6,425	3,476	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.84	0.44	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-03-02-01-00-00	都市計画街路業務経費	建設部道路課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4520000　建設部道路課
短縮番号　00490　都市計画街路業務経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4520000　建設部道路課　　担当者
短縮番号　01482　籠原駅南口線道路改良事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	003　幹線道路を計画的に整備する				
施策達成課題	001　幹線道路を計画的に整備する				
基本事務事業	014　籠原駅南口線道路改良事業				
詳細事務事業	001　籠原駅南口線道路改良事業				
事業期間	平成27年度 ～ 令和 7年度	11　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	道路法、都市計画法				
課題・分析	平成27年度に地元説明会及び現況測量を実施し、地元住民からは早期の事業完了が望まれている。				

【事業分析】

対象	都市計画道路籠原駅南口線（市道125号線）の利用者
目的	籠原駅へのアクセス性・利便性の向上、児童・生徒の安全な通学の確保。
手段	用地買収及び工事を行うことによる。
その他	事業期間　平成27年度～令和7年度 延長Ｌ＝約820m、幅員Ｗ＝16.0m

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	53,942	51,990	165,600	0	0	0	0
事業費	46,905	48,040	165,600	0	0	0	0
国庫支出金	24,887	0	30,800	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	20,500	44,315	59,900	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,518	3,725	74,900	0	0	0	0
人件費計	7,037	3,950	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.92	0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-03-13-01-00-00	籠原駅南口線道路改良事業	建設部道路課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4520000　建設部道路課
短縮番号　01482　籠原駅南口線道路改良事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
事業進捗率【累計】	%	75.00 69.00	90.00 83.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	事業完了	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）	令和７年度事業完了見込み		

【２次評価結果】

事業の方向性	事業完了	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4520000　建設部道路課　　担当者
短縮番号　01751　池上地区「道の駅」関連道路整備事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	003　幹線道路を計画的に整備する				
施策達成課題	001　幹線道路を計画的に整備する				
基本事務事業	017　池上地区「道の駅」関連道路整備事業				
詳細事務事業	001　池上地区「道の駅」関連道路整備事業				
事業期間	令和 2年度 ～ 令和 8年度	7　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	道路法				
課題・分析	東部地域に整備を計画している仮称道の駅「くまがや」へのアクセス強化が図られる。				

【事業分析】

対象	池上地区「道の駅」関連道路
目的	仮称道の駅「くまがや」のアクセス道路
手段	新設道路整備
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	73,493	57,853	177,316	494,153	0	0	0
事業費	52,459	44,028	177,316	494,153	0	0	0
国庫支出金	6,570	18,750	6,500	163,000	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	45,889	25,278	170,816	331,153	0	0	0
人件費計	21,034	13,825	0	0	0	0	0
一般職員（人）	2.75	1.75	1.70	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-03-41-01-00-00	池上地区「道の駅」関連道路整備事業	建設部道路課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4520000　建設部道路課
短縮番号　01751　池上地区「道の駅」関連道路整備事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
事業進捗率【累計】	%	0.00 0.00	0.00 0.00	52.00 0.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	令和８年度は、用地買収及び工事を実施し事業完了見込み		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4520000　建設部道路課　　担当者
短縮番号　02114　（仮称）万吉村岡線道路改良事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	003　幹線道路を計画的に整備する				
施策達成課題	001　幹線道路を計画的に整備する				
基本事務事業	019　（仮称）万吉村岡線道路改良事業				
詳細事務事業	001　（仮称）万吉村岡線道路改良事業				
事業期間	令和 6年度 ～ 令和11年度	6　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	道路法				
課題・分析	当該路線は、吉岡小学校から、東松山、大里方面をつなぐ交通量の多い主要な市道であるが、歩道がなく危険な状況であるため計画幅員9.5m（車道7.0m　歩道2.5m）延長650mの整備を行う。（交差点部幅員12.5m）				

【事業分析】

対象	市道90283号線　市道大里68号線　市道大里167号線
目的	地域交通の安全性向上を図る
手段	用地買収及び道路工事
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	0	13,514	18,600	25,700	61,000	61,000	61,000
事業費	0	6,325	18,600	25,700	61,000	61,000	61,000
国庫支出金	0	0	0	0	30,500	30,500	30,500
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	6,325	18,600	25,700	30,500	30,500	30,500
人件費計	0	7,189	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	0.91	0.55	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-03-44-01-00-00	（仮称）万吉村岡線道路改良事業	建設部道路課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4520000　建設部道路課
短縮番号　02114　（仮称）万吉村岡線道路改良事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	今後は用地取得、物件補償、工事を行うため事業費は拡大する見込み		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4520000　建設部道路課　　担当者
短縮番号　02112　星川通線道路改良事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003　機能的で安全な道路を整備する				
施策	004　中心市街地の道路環境整備を進める				
施策達成課題	001　中心市街地の道路環境整備を進める				
基本事務事業	007　星川通線道路改良事業				
詳細事務事業	001　星川通線道路改良事業				
事業期間	令和 6年度 ～ 令和 6年度	1　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	道路法				
課題・分析	当該路線の主要地方道熊谷停車場線との交差点において、現在右折レーンがないため、対向直進車両通過待ちの右折車両が２台以上になると、後続の直進及び左折車両が通行できなくなる混雑が生じている。この混雑緩和に向け、現状殆ど利用されていない星川広場のスペースを有効活用し、右折レーンを設置することにより、快適な道路環境を創出する。				

【事業分析】

対象	主要地方道熊谷停車場線及び星川通線（市道１１２号線）利用者
目的	交通の円滑化、安全性の向上
手段	道路工事
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	0	4,252	0	0	0	0	0
事業費	0	2,988	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	2,988	0	0	0	0	0
人件費計	0	1,264	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-03-45-01-00-00	星川通線道路改良事業	建設部道路課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4520000　建設部道路課
短縮番号　02112　星川通線道路改良事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準			ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
	理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
	理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
	理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
	理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる		3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
	理由					

【１次評価結果】

事業の方向性	事業完了	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	令和６年度事業完了		

【２次評価結果】

事業の方向性	事業完了	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1010000　総合政策部企画課　　担当者
短縮番号　00974　総合交通体系整備促進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	004　利便性の高い公共交通を推進する				
施策	001　持続可能で効率的な交通ネットワークを構築する				
施策達成課題	001　持続可能で効率的な交通ネットワークを構築する				
基本事務事業	001　総合交通体系整備促進事業				
詳細事務事業	001　総合交通体系整備促進事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類	法定事務		
根拠法令等	道路運送法地域公共交通の活性化及び再生に関する法律				
課題・分析	【課題】ゆうゆうバスは、市内交通不便地域への交通手段確保、高齢者の免許返納対策等に重要であるが、人口減少、ポストコロナにおける社会変容による利用者減少、収益悪化、全国的な運転士不足が課題である。同様に路線バス、鉄道の収益悪化により利用促進を目的とした各協議会の負担額も上昇傾向にある。 【分析】人口減少、高齢化が進む中、利便性が高く持続可能な地域公共交通を編成していくことが求められる。				

【事業分析】

対象	市民及び来訪者
目的	路線バス等既存交通との適切な役割分担のもと、本市の公共交通体系の整備・充実を図る。
手段	本市では、鉄道、路線バス及びゆうゆうバスなどの公共交通が連携した利便性の高い公共交通ネットワークの再編を目指す「熊谷市地域公共交通計画」に基づき、計画的に事業を実施している。事業実施の際には、市民、事業者、国、県、公安関係者等で構成されている「熊谷市地域公共交通会議」の場において審議している。
その他	・地域公共交通のあるべき姿を審議する「地域公共交通会議」の開催 ・ゆうゆうバス事業者への運行補助の実施 ・路線バス事業者、鉄道事業者への補助の実施

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	186,792	200,438	336,729	279,682	0	0	0
事業費	178,379	191,906	336,729	279,682	0	0	0
国庫支出金	12,469	0	12,827	0	0	0	0
県支出金	11,002	4,768	2,000	2,000	0	0	0
地方債	0	0	76,900	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	154,908	187,138	245,002	277,682	0	0	0
人件費計	8,413	8,532	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.10	1.08	2.75	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-07-06-01-00-00	総合交通体系整備促進事業	総合政策部企画課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1010000　総合政策部企画課
短縮番号　00974　総合交通体系整備促進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
公共交通に満足している市民の割合	%	50.00 43.70	50.00 38.10	50.00 0.00	50.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
ゆうゆうバス利用者数	人	250,000.00 245,227.00	250,000.00 191,244.00	200,000.00 0.00	200,000.00 0.00	210,000.00 0.00	210,000.00 0.00	210,000.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1010000　総合政策部企画課　　担当者
短縮番号　01880　地域公共交通支援事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	004　利便性の高い公共交通を推進する				
施策	001　持続可能で効率的な交通ネットワークを構築する				
施策達成課題	001　持続可能で効率的な交通ネットワークを構築する				
基本事務事業	018　地域公共交通支援事業				
詳細事務事業	001　地域公共交通支援事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	【課題】コロナ後、乗客の足は戻ってきているものの、燃料費価格の高騰など地域公共交通事業者の経営状況は厳しい状況が続いており、市民の交通手段確保のため、地域公共交通体系を持続させることが課題である。 【分析】燃料費価格の高騰など大きな影響を受けながらも地域公共交通の運行を継続している交通事業者に対して支援を行った。				

【事業分析】

対象	路線バス事業者：市内に2つ以上のバス停があり市内の駅を発着する路線を運行するバス事業者における、当該路線に使用するバス車両及び羽田空港行き高速バス。 タクシー事業者：熊谷市内に使用の本拠を置くタクシー。 ゆうゆうバス
目的	燃料費価格の高騰など地域公共交通事業者の経営状況は厳しい状況が続いており、市民の交通手段確保のため、地域公共交通体系を持続させる。
手段	補助額 路線バス：50千円／１台　空港バス：50千円／１台　タクシー：30千円／１台 ゆうゆうバス：直近決算（令和５年度決算）の運行経費の１割
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	19,310	19,630	0	0	0	0	0
事業費	19,310	19,630	0	0	0	0	0
国庫支出金	19,310	10,000	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	9,630	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-07-81-01-00-00	地域公共交通支援事業	総合政策部企画課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1010000　総合政策部企画課
短縮番号　01880　地域公共交通支援事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
補助の執行	%	100.00 100.00	100.00 100.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	3
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	事業完了	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	事業完了	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1010000　総合政策部企画課　　担当者
短縮番号　02156　ＭａａＳ基本計画策定事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	004　利便性の高い公共交通を推進する				
施策	001　持続可能で効率的な交通ネットワークを構築する				
施策達成課題	001　持続可能で効率的な交通ネットワークを構築する				
基本事務事業	021　ＭａａＳ基本計画策定事業				
詳細事務事業	001　ＭａａＳ基本計画策定事業				
事業期間	令和 6年度 ～ 令和 6年度	1　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	【課題】コロナ禍による輸送人員の減少や燃料費の高騰等による経費の増加、加えて、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」、いわゆる改善基準告示が令和６年４月１日から施行され、バス運転者の拘束時間や休息時間が変更されることとなっており、バスのダイヤ変更の検討が余儀なくされるなど、公共交通をめぐる環境は厳しさを増している。 【分析】当市にＡＩオンデマンド交通等の新たなモビリティサービスを導入するにあたり、導入地域やサービス内容を分析・設定するため計画を策定する。				

【事業分析】

対象	市民、来訪者、交通事業者
目的	本市のMaaSを推進し、より利便性の高い公共交通の実現とその他のサービスとの連携を図るため、本市の実情に合った計画を策定する。
手段	・計画策定委託 ・既存公共交通事業者への意見聴取 ・市民アンケート調査、公共交通機関利用者へのアンケート調査　等
その他	路線バスやタクシーなどの既存の公共交通機関も存続しており、それらとの共存を図る必要があるため、計画策定に当たっては十分な意見聴取を行う必要がある。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	0	22,524	0	0	0	0	0
事業費	0	13,992	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	9,328	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	4,664	0	0	0	0	0
人件費計	0	8,532	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	1.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1010000　総合政策部企画課
短縮番号　02156　ＭａａＳ基本計画策定事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	3
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	事業完了	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	市民アンケート、人流分析を元に、市民の移動需要を把握し、当市に合致したＡＩオンデマンド交通の仕様、方針を策定した。本計画を基に、令和８年１月から市内妻沼地区にてＡＩオンデマンド交通の運行を開始する。		

【２次評価結果】

事業の方向性	事業完了	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4030000　都市整備部公園緑地課　　担当者
短縮番号　00503　子供広場等維持管理経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	005　親しみある魅力的な公園を創出する				
施策	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
施策達成課題	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
基本事務事業	001　子供広場等維持管理経費				
詳細事務事業	001　子供広場等維持管理経費				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	児童福祉法、熊谷市児童遊園条例				
課題・分析	遊具や公園施設の老朽化が著しい。遊具定期点検などの結果に基づき適正に管理する必要がある。				

【事業分析】

対象	子供広場等の維持管理
目的	遊具等を適正に維持管理し、安心かつ安全な遊び場として子供広場等を整備することで、子供たちの健全な心身の育成及び子育て支援に寄与することができる。
手段	遊具等を定期的に点検し、補修や樹木剪定等を実施する。サポーター制度を活用し、身近な子供広場の美化活動等を地元自治会などに委ねることにより、明るく快適な子供広場とする。
その他	子供広場、児童遊園　総設置数２０５箇所、総面積１１．５ha ※令和７年４月１日時点

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	12,128	13,283	3,460	4,300	0	0	0
事業費	3,347	3,999	3,460	4,300	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,347	3,999	3,460	4,300	0	0	0
人件費計	8,781	9,284	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-03-02-03-02-01-00-00	子供広場等維持管理経費	都市整備部公園緑地課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4030000　都市整備部公園緑地課
短縮番号　00503　子供広場等維持管理経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
子供広場等新設数	箇所	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
子供広場等新設面積	ha	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4030000　都市整備部公園緑地課　　担当者
短縮番号　00504　公園等維持管理経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	005　親しみある魅力的な公園を創出する				
施策	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
施策達成課題	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
基本事務事業	002　公園等維持管理経費				
詳細事務事業	001　公園等維持管理経費				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	都市公園法、同施行令、同施行規則、熊谷市都市公園条例、同施行規則				
課題・分析	定期的に都市公園等の遊具等を点検し、補修や樹木剪定等を実施。サポーター制度を活用し、自治会などの団体に身近な公園の美化活動等を委ねているが、実施・運営状況に地域差がある。 また、遊具の老朽化と安全基準の厳格化により、更新・修繕・撤去を順次行う必要がある。				

【事業分析】

対象	都市公園の維持管理
目的	都市公園（街区、近隣、総合、運動公園等）を適正に維持管理し、各種スポーツ・レクリエーション活動の場や子供の遊び場を提供することで、市民の健康増進や快適で豊かな暮らしに寄与することができる。
手段	遊具の定期点検を実施し、危険性のある遊具については修繕・撤去・更新などの対応を実施する。また、除草、樹木剪定等を適宜実施する。
その他	都市公園等総設置数　205か所、総面積221.55ha ※令和７年４月１日時点（小数点以下四捨五入）

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	203,324	218,447	224,396	331,577	0	0	0
事業費	156,451	218,447	224,396	331,577	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	56,200	0	0	0	0
その他	4,376	4,738	5,108	0	0	0	0
一般財源	152,075	213,709	163,088	331,577	0	0	0
人件費計	46,873	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	5.98	5.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-05-02-01-00-00	公園等維持管理経費	都市整備部公園緑地課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4030000　都市整備部公園緑地課
短縮番号　00504　公園等維持管理経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
都市公園等新設数	箇所	1.00 0.00	1.00 △1.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
都市公園等新設面積	ha	0.10 △0.96	0.10 △2.70	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4030000　都市整備部公園緑地課　　担当者
短縮番号　00508　別府沼公園・妻沼運動公園等管理運営経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	005　親しみある魅力的な公園を創出する				
施策	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
施策達成課題	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
基本事務事業	003　別府沼公園・妻沼運動公園等管理運営経費				
詳細事務事業	001　別府沼公園・妻沼運動公園等管理運営経費				
事業期間	平成28年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	都市公園法、同施行令、同施行規則、熊谷市都市公園条例、同施行規則				
課題・分析	平成31年度から別府沼公園を指定管理区域に加え、より効率的で多岐にわたる対応が求められる。				

【事業分析】

対象	妻沼運動公園・利根川総合運動公園・妻沼東運動公園・妻沼西第一公園・妻沼西第二公園・妻沼西第1緑地・妻沼西第2緑地・妻沼西第3緑地・妻沼西第4緑地・妻沼西第5緑地・別府沼公園の維持管理
目的	各施設を適正に維持管理し、利用者に安全で快適なサービスを提供する。
手段	指定管理者により各施設の維持管理、運営を行う。
その他	指定管理者による管理運営

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	135,216	124,472	158,762	146,762	0	0	0
事業費	127,567	116,572	158,762	146,762	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	21,700	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	127,567	116,572	137,062	146,762	0	0	0
人件費計	7,649	7,900	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-06-04-01-00-00	別府沼公園・妻沼運動公園等管理運営経費	都市整備部公園緑地課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4030000　都市整備部公園緑地課
短縮番号　00508　別府沼公園・妻沼運動公園等管理運営経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
公園利用者数	人	119,000.00 132,339.00	135,000.00 139,561.00	135,000.00 0.00	135,000.00 0.00	135,000.00 0.00	135,000.00 0.00	135,000.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）	・妻沼運動公園　体育館設計委託（建て替えに伴う） ・利根川総合運動公園　都市計画変更図書作成業務、再整備プラン検討業務委託（利根川新橋建設に伴う）		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4030000　都市整備部公園緑地課　　担当者
短縮番号　00948　熊谷運動公園管理運営経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	005　親しみある魅力的な公園を創出する				
施策	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
施策達成課題	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
基本事務事業	004　熊谷運動公園管理運営経費				
詳細事務事業	001　熊谷運動公園管理運営経費				
事業期間	平成29年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	都市公園法、同施行令、同施行規則、熊谷市都市公園条例、同施行規則				
課題・分析	平成29年度から5年間の指定管理者制度を導入。 現在の指定管理者は引き続き三度目の選定を受け、これまでの経験を踏まえ効率よく適切な管理運営が行われている。また、民間企業のノウハウを生かし、利用者に安全で快適なサービスを提供している。				

【事業分析】

対象	熊谷運動公園の管理運営
目的	各施設を適正に維持管理し、利用者に安全で快適なサービスを提供する。
手段	指定管理者により各施設の維持管理、運営等を行う。
その他	指定管理者による管理運営

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	277,289	259,064	257,647	748,047	0	0	0
事業費	269,640	251,164	257,647	748,047	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	39,700	0	0	0	0
その他	0	0	1,320	0	0	0	0
一般財源	269,640	251,164	216,627	748,047	0	0	0
人件費計	7,649	7,900	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-06-02-01-00-00	熊谷運動公園管理運営経費	都市整備部公園緑地課

事務事業評価シート２

1

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4030000　都市整備部公園緑地課
短縮番号　00948　熊谷運動公園管理運営経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
公園利用者数	人	300,000.00	300,000.00	300,000.00	300,000.00	300,000.00	300,000.00	300,000.00
		253,349.00	279,698.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）	・多目的広場人工芝化 ・受変電設備更新 ・弓道場近的安土改修 ・本球場照明修繕(一部LED化) ・井水圧力タンク更新		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4030000　都市整備部公園緑地課　　担当者
短縮番号　00950　公園サポーター制度推進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	005　親しみある魅力的な公園を創出する				
施策	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
施策達成課題	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
基本事務事業	005　公園サポーター制度推進事業				
詳細事務事業	001　公園サポーター制度推進事業				
事業期間	平成21年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市公園サポーター制度実施要領				
課題・分析	公園サポーター制度への加入について、自治会や利用団体等へ働きかけているが、高齢化によって継続が困難な自治会も増えており、加入率の向上や活動の活性化を図るため、報償金の増額だけではなく、新たな支援策について検討する必要がある。				

【事業分析】

対象	公園サポーター制度
目的	住民と行政が協働で快適な公園環境の維持・保全を図るため、公園サポーター制度の導入を推進する。
手段	公園の除草や清掃等の管理・美化活動に対し、備品や報償金を支給する。また、緑化・花いっぱい活動等に対しても支援する。
その他	公園サポーター制度の導入を推進する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	23,488	23,350	15,300	15,700	0	0	0
事業費	15,839	15,450	15,300	15,700	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	15,839	15,450	15,300	15,700	0	0	0
人件費計	7,649	7,900	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-05-25-01-00-00	公園サポーター制度推進事業	都市整備部公園緑地課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4030000　都市整備部公園緑地課
短縮番号　00950　公園サポーター制度推進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
公園サポーター制度導入割合	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		75.30	74.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

令和 7年11月27日
19時35分37秒

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4030000　都市整備部公園緑地課　　担当者
短縮番号　01203　江南総合公園管理運営経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	005　親しみある魅力的な公園を創出する				
施策	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
施策達成課題	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
基本事務事業	009　江南総合公園管理運営経費				
詳細事務事業	001　江南総合公園管理運営経費				
事業期間	平成28年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	都市公園法、同施行令、同施行規則、熊谷市都市公園条例、同施行規則				
課題・分析	令和3年度から5年間の指定管理者制度を導入。 民間企業等のノウハウを活かし、安全で快適なサービスの提供を目指す。				

【事業分析】

対象	江南総合公園の管理運営
目的	各施設を適正に維持管理し、利用者に安全で快適なサービスを提供する。
手段	指定管理者により各施設の維持管理、運営等を行う。
その他	指定管理者による管理運営

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	21,321	22,003	14,240	21,000	0	0	0
事業費	13,672	14,103	14,240	21,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	13,672	14,103	14,240	21,000	0	0	0
人件費計	7,649	7,900	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-06-08-01-00-00	江南総合公園管理運営経費	都市整備部公園緑地課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4030000　都市整備部公園緑地課
短縮番号　01203　江南総合公園管理運営経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
公園利用者数	人	25,000.00 29,097.00	35,000.00 27,735.00	35,000.00 0.00	35,000.00 0.00	35,000.00 0.00	35,000.00 0.00	35,000.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4030000　都市整備部公園緑地課　　担当者
短縮番号　01575　中央公園荒川緑地管理運営経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	005　親しみある魅力的な公園を創出する				
施策	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
施策達成課題	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
基本事務事業	016　中央公園荒川緑地管理運営経費				
詳細事務事業	001　中央公園荒川緑地管理運営経費				
事業期間	平成29年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	都市公園法、同施行、熊谷市都市公園条例、同施行規則、熊谷市緑化センター管理規則				
課題・分析	指定管理者制度を平成29年度に導入し、令和2年度～令和6年度が2期目。今後、さらに指定管理者と連携してサービスの向上と効率的な管理運営を図り、利用者の増加につなげたい。				

【事業分析】

対象	中央公園・緑化センター・荒川緑地（熊谷、久下、村岡）の管理運営
目的	各施設を適正に維持管理し、利用者に安全で快適なサービスを提供する。
手段	指定管理者により各施設の維持管理、運営を行う。
その他	指定管理者による管理運営

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	43,836	41,738	62,720	46,711	0	0	0
事業費	36,187	33,838	62,720	46,711	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	36,187	33,838	62,720	46,711	0	0	0
人件費計	7,649	7,900	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-05-40-01-00-00	中央公園荒川緑地管理運営経費	都市整備部公園緑地課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4030000　都市整備部公園緑地課
短縮番号　01575　中央公園荒川緑地管理運営経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
緑化センター利用人数	人	20,000.00 18,010.00	20,000.00 15,631.00	20,000.00 0.00	20,000.00 0.00	20,000.00 0.00	20,000.00 0.00	20,000.00 0.00
荒川緑地等利用人数	人	158,000.00 276,898.00	300,000.00 301,519.00	300,000.00 0.00	300,000.00 0.00	300,000.00 0.00	300,000.00 0.00	300,000.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4030000　都市整備部公園緑地課　　担当者
短縮番号　02068　熊谷運動公園子供広場整備事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	005　親しみある魅力的な公園を創出する				
施策	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
施策達成課題	001　特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
基本事務事業	031　熊谷運動公園子供広場整備事業				
詳細事務事業	001　熊谷運動公園子供広場整備事業				
事業期間	令和 5年度 ～ 令和 6年度	2　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	屋外プールに代わる新たな賑わいの創出、潜在利用者の掘り起こし				

【事業分析】

対象	市民（主に子育て世代の親子や学生・公園利用者、スケートボード愛好者など）
目的	利用者の活性化やイメージアップ、スポーツ環境の向上
手段	
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	8,286	207,279	93,900	50,000	0	0	0
事業費	7,904	199,379	93,900	50,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	175,800	0	0	0	0	0
その他	0	14,292	0	0	0	0	0
一般財源	7,904	9,287	93,900	50,000	0	0	0
人件費計	382	7,900	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.05	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4030000　都市整備部公園緑地課
短縮番号　02068　熊谷運動公園子供広場整備事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由	暑さ対策等の修景施設が必要であるため			
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	○子供広場の環境整備（日かげ、休憩施設の創出等） ○園路補修		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1030000　総合政策部財政課　　担当者
短縮番号　01798　水道事業繰出事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	006　上下水道を整備し、適切な維持管理をする				
施策	001　安全でおいしい水を安定供給する				
施策達成課題	001　安全でおいしい水を安定供給する				
基本事務事業	003　水道事業繰出事業				
詳細事務事業	001　水道事業繰出事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	地方公営企業繰出基準において、上水道に対する出資に要する経費として、経営戦略を策定した給水事業者が、災害対策として実施する水道管路の耐震化事業が盛り込まれており、当該耐震化事業費のうち、通常の事業費に上積みして実施する額から国庫補助金を除いた１／４についてー般会計から水道事業会計への出資が規定されている。 これに基づき、ー般会計が出資金の100%について「水道事業会計出資債」の起債し、これを財源に水道事業会計に対して出資を行うものである。				

【事業分析】

対象	水道事業会計
目的	上下水道を整備し、適切な維持管理をする。
手段	水道事業へのー般会計繰出し。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	169,930	1,240	35,922	2,604	0	0	0
事業費	169,930	1,240	35,922	2,604	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	168,600	0	33,700	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
ー般財源	1,330	1,240	2,222	2,604	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
ー般職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-01-09-01-00-00	水道事業繰出事業	総合政策部財政課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1030000　総合政策部財政課
短縮番号　01798　水道事業繰出事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	5
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広くー般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性のー部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望するー部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1030000　総合政策部財政課　　担当者
短縮番号　01739　下水道事業繰出事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	006　上下水道を整備し、適切な維持管理をする				
施策	002　下水道を計画的に整備する				
施策達成課題	001　下水道を計画的に整備する				
基本事務事業	004　下水道事業繰出事業				
詳細事務事業	001　下水道事業繰出事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	都市計画法第７５条				
課題・分析	下水道事業への一般会計繰出金。 令和２年４月１日付け総財公第７７号総務大臣通知に基づく基準内繰出金（負担金）及び赤字補填となる基準外繰出金（補助金）を支出する。 基準外繰出金については、令和２年度策定の下水道事業経営戦略（令和３年～令和１２年）の収支計画や料金改定の実施により、令和６年度にゼロになった。				

【事業分析】

対象	下水道事業会計
目的	上下水道を整備し、適切な維持管理をする。
手段	下水道事業への一般会計繰出し。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	1,115,533	1,172,234	1,303,811	914,209	0	0	0
事業費	1,115,533	1,172,234	1,303,811	914,209	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,115,533	1,172,234	1,303,811	914,209	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1030000　総合政策部財政課
短縮番号　01739　下水道事業繰出事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	5
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1030000　総合政策部財政課　　担当者
短縮番号　02078　農業集落排水事業繰出事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006　快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	006　上下水道を整備し、適切な維持管理をする				
施策	003　下水道施設を効率的に維持管理する				
施策達成課題	001　下水道施設を効率的に維持管理する				
基本事務事業	002　農業集落排水事業繰出事業				
詳細事務事業	001　農業集落排水事業繰出事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	地方公営企業法第17条の2、第17条の3				
課題・分析	農業集落排水事業への一般会計繰出金。 令和5年4月3日総財公第２８号総務副大臣通知に基づく基準内繰出金（負担金）及び赤字補填となる基準外繰出金（補助金）を支出する。				

【事業分析】

対象	
目的	農業集落排水特別会計（令和5年度以降については下水道事業に含まれる農業集落排水事業）の円滑な運営を図るため、一般会計からの繰出を行う。
手段	
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	290,491	250,393	240,772	252,837	0	0	0
事業費	290,491	250,393	240,772	252,837	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	290,491	250,393	240,772	252,837	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1030000　総合政策部財政課
短縮番号　02078　農業集落排水事業繰出事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			